

## 農水産業の振興を目指して ～官民協働での取り組み～ 長洲町と味の素(株)九州事業所が包括連携協定を締結!



協定を締結し熱く握手を交わす(左から)中逸町長、味の素(株)九州事業所 東森事業所長

3月30日、長洲町役場で町と味の素株式会社九州事業所(佐賀市諸富町)による包括連携協定調印式が行われました。この包括連携協定では、農水産業・地域産業・環境・健康・食育などの幅広い連携・協力を深め、官民協働による地域活性化を目指すことを目的に締結したものです。

九州事業所は、味の素の国内3工場のうち最大のアミノ酸工場で、アミノ酸の製造過程で発生する「副生液」は、ミネラルやタンパク質も豊富であり肥料の原料などに利用されています。

今後、味の素(株)九州事業所の持つノウハウや「アミノ酸副生液」を活用して、農水産業の振興を図るとともに、地域資源を利用した新たな高機能性商品開発へ向けた事業を推進していきます。

## 中逸町政「第3章」始動

再選―

任期満了に伴う長洲町長選挙は、4月18日に告示され、現職以外の立候補の届け出がなく、中逸氏の無投票での再選が決まった。これからの4年間、どのような長洲町へと進むのか。果たしてその展望は。中逸町政の新たなまちづくりが幕を開ける。

### 3期目の再選を受けて今の心境は

2期目では、長洲町の大きな課題であった公共下水道特別会計の赤字解消をはじめ、定住、福祉、教育、産業、あらゆる分野においてこれまでに育った芽が少しずつ木へと成長した4年間だったと感じています。今回の再選は、これまでの2期8年を評価していただき、町をさらに発展してほしいという町民の意思表示であると感じています。

### 町の課題とそのため必要な施策とは

年々減少している町の人口をいかに食い止めるか、「定住化の推進」が大きなテーマであります。町の人口は、現在、約1万6,000人ほどですが、人口は毎年減少してお

り、10年後には1万5,000人ほどになると推測されています。

そのような中、町の定住化に向けた発展の礎となるのが、宮野地区への住宅の整備であります。これは、定住化の推進を図るうえで重要な事業の一つであり、本年度から新たに地域優良賃貸住宅を順次整備してまいります。今後、この住宅を中心に駅南側や出町区の区画整理、空き家の有効活用などを行い「住みたいまち・長洲町」を創りたいと考えています。

また、少子化に歯止めをかけるためには、子育て支援と教育の充実が必要不可欠であります。放課後子供教室や学童保育、延長保育などの実施をはじめ、現在、全ての幼稚園・保育園で実施している英語教育を小

### 広報ながす5月号目次

- 02P もくじ・味の素(株)九州事業所と包括連携協定
- 03P 中逸町政「第3章」始動
- 04P 特集 長洲町の教育の「イマ」
- 08P 予算執行状況
- 10P ながすTopics
- 13P おしらせ
- 19P 来てみなっせ 金魚と鯉の郷広場
- 20P 生涯学習コーナー
- 22P ながす未来館・図書館コーナー
- 24P 社協だより もやい
- 26P 福祉・子育て情報
- 29P はじめてのハッピーバースデー
- 30P 青春の一コマ
- 31P ぼくの夢 わたしの夢 長洲小6年 久山星成さん
- 32P 新規採用職員紹介

### 防災情報(長洲付近)

#### 5月の潮位

大潮期間中の満潮時には、高潮に注意してください。

11日☉ 午前9時00分頃、午後9時45分頃

26日☉ 午前9時00分頃、午後10時00分頃

※11日、26日の前後は、海面が高くなりますので特に注意してください。

### 今月の表紙



4月11日に町内小中学校で入学式が行われました。希望に胸を膨らませた新入生232人の学校生活がスタートしました。

### 人の動き population dynamics

人口	16,125人	(113人減)
男	7,898人	(57人減)
女	8,227人	(56人減)
世帯数	6,946世帯	(26世帯減)

平成29年3月末日現在 ※( )内は、前月比

### 町の発展のために必要不可欠なものとは

有明海沿岸道路の延伸や赤田・上沖洲線の整備は、有明圏域地域へ「人」、「モノ」の経済流通など無限の可能性を生み出し、長洲町の新たな発展が可能となります。

今後も引き続き、国などに要望活動を行い、延伸の早期実現に向けて努めてまいります。

また、産業面では、製造業などの二次産業はさることながら、昨年、新たに企業が参入して大変評価が高い海苔が生産されている海苔養殖業や福岡大学などと連携して取り組んでいる漁場の再生事業、県内トップの生産量を誇るミニトマトなどの一次産業の活性化や六次産業化による地域ブランドの確立を図りたいと考えています。

### 新たなまちづくりへの抱負は

私は、8年前に町長として就任して以来、「気づきの心をもって、自ら行動し、住民目線のまちづくり」を常に心がけながらまちづくりを行ってまいりました。その結果、あらゆる分野において小さな芽が成長しつつあります。3期目も引き続き、初心にかえりこれまで以上に積極的に地域へ出向き、町民の皆さんの声を聞きながら、長洲町に住んで幸せを実感することができるよう、これからも全身全霊で取り組み、町民の皆さんとともに歩んでまいりたいと思います。



### Profile

中逸 博光 町長  
なかいつ ひろみつ

1954年8月1日生まれ。明治大学商学部卒業後、78年熊本市役所入庁。99年市民税課長、04年花園市民センター所長、06年男女共生推進課長を経て09年長洲町長に初就任。妻裕子さんと2人暮らし。出町区在住、62歳。